

## ご存知ですか？『津波防災の日』『世界津波の日』

○毎年11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」です。

「津波防災の日」は、1854年11月5日の安政南海地震※1による津波が和歌山県を襲った際の「稲むらの火」の逸話にちなんで決められました。

「世界津波の日」は、津波の脅威と対策への国際的な意識向上を目的に2015年12月の国連総会で採択されました。

○各地で、津波防災の日を中心に「防災訓練」が予定されています。適切な防災行動、避難先の確認など、いざというときについて考え、いつか来るかも知れない地震や津波から身を守ることに繋がしましょう。

○宮古・八重山諸島では、1771年「明和の大津波」で大勢の犠牲者が出ています。

明和の大津波は、今から250年前の1771年(明和8年)4月24日午前8時頃に八重山地震津波※1が発生、この地震により引き起こされた巨大な津波で先島諸島では、1万2000人が犠牲となりました。津波はひとたび発生すれば大きな被害をもたらします。この機会に、下の赤枠内の海拔表示やより高い安全な場所を一度確認しておきましょう。

※1「新編日本被害地震総覧」による



沖縄県：海拔表示等にかかるガイドラインより

沖縄県では、住民の避難意識と災害発生時の避難体制の強化を目的として、左のように**海拔表示を統一**しています。

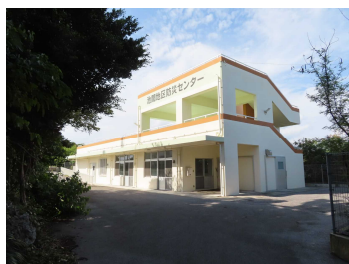
**赤色：設置場所が海拔5m以下**

**黄色：海拔6～19m**

**青色：海拔20m以上**であることを意味しています。

○大津波警報や津波警報が発表されたら、より高い安全な場所※2へ速やかに避難することが大切です。

※2 宮古島では以下の避難場所があります



池間地区防災センター



与那覇地区防災センター

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ  
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30~17:15)